

2026年 第125回放送番組審議会議事録

1. 開催日時 2026年9月14日(月) 14:00～15:00

2. 開催場所 エフエム世田谷会議室

3. 出席者 委員総数6名 出席委員数5名

＜審議会委員＞	吉田	周平	委員長
	大塚	智弘	副委員長
	横谷	弘美	委員
	村井	やよい	委員
	吉村	俊雄	委員

欠席	大塚	邦雄	委員
----	----	----	----

＜放送事業者＞	田中	文子	代表取締役社長
	森岡	秀樹	取締役第二事業部長
	手計	直也	エフエム世田谷担当課長
	太田	良	エフエム世田谷担当係長
	花岡	朋奈	エフエム世田谷担当

4. 審議対象番組 「SETAGAYA TECH JUNCTION」
毎週金曜日 21:00～21:30 放送

5. 議事の概要

- (1) 放送局側からの審議番組の説明
- (2) 当該番組の試聴
- (3) 出席委員による当該番組の審議
- (4) 関連事項について出席者全員での意見交換

6. 審議内容

定刻、鎌田委員の退任と後任委員の紹介を行った。その後事務局より、委員総数6名のうち5名が出席しているため、規定により本日の審議会が正式に成立する旨を報告し、委員長に議事進行を依頼した。

委員長の開始宣言に続き、委員長の指示により事務局が審議内容の説明を行った。

(1) 番組概要

〈 番組名 〉「SETAGAYA TECH JUNCTION」

〈 出演者 〉 パーソナリティ：大野泰敬
松下孝志

〈 番組内容 〉 宇宙、量子コンピューティング、AI、ロボティクス、センシング技術など、最先端技術をテーマに、その魅力と面白さを楽しく伝えるラジオ情報番組です。

最先端技術に挑戦するエンジニアや研究者、技術を活用して新たな価値創出に挑む起業家を毎回ゲストに迎え、最先端技術の可能性や社会実装のあり方について発信します。

株式会社セックのエンジニアもコメンテーターとして参加し、ゲストとの対話を通じて、最先端技術の開発現場で培った知見やエンジニアならではの視点からの考察を加え、最先端技術と社会との接点を分かりやすく伝えていきます。

〈 制 作 〉 株式会社世田谷サービス公社 第二事業部 エフエム世田谷

(2) 審議対象放送内容

放 送 日：2026年8月14日 放送分

放送内容：宇宙のロードサービスで持続可能な宇宙開発を切り開く
「アストロスケールの挑戦」について

7. 審議における委員の主たる意見は次のとおり

- ・番組のテーマ上、カタカナや固有名詞が多く登場するものの、適宜例え話や補足説明が織り交ぜられており、全体を通して聞きやすかった。
- ・内容は専門的で難しいものの、聞き始めるとその面白さが伝わってくる。放送内容を踏まえると、画像や映像による補足が欲しくなる場面もあった。初心者向けの番組ではないため、比較的身近な話題も取り上げることで、より多くのリスナーに親しみを持ってもらえるのではないかと感じた。

- ・番組タイトルだけを見ると難しそうな印象を受け、敬遠してしまうリスナーもいるように感じる。一方で、シンプルで幅広いテーマ展開が可能な番組タイトルでもあるため、今後さまざまなゲストや企画の展開に期待したい。

- ・番組を通じて企業を知るきっかけとなり、ひいては世田谷という地域への理解にもつながると感じた。固定リスナーの獲得に向けて、学校向け講座や子ども向け体験イベントなど、番組発のコンテンツ展開があるとさらに良いと思う。

- ・難しいテーマである一方、今後学んでいく必要性の高い内容でもある。時代に取り残されないよう、未来の世代に向けて継続的に発信し、認知を広げていってほしいと感じた。夢や可能性を感じさせる番組である。

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法：自社ホームページ (<https://www.fmsetagaya.com/>) へ掲載

自社制作番組『番組審議会からのお知らせ』による放送

公表の内容：上記議事録の通り

公表年月日：2026年9月25日（金）

9. その他参考事項

- ・次回は、第126回 2026年12月14日（月）14：00～15：00予定

以上